豊庄だより

福岡市早良区南庄２－２６－１３
社会福祉法人林生会豊庄保育園
園長　西尾　達

第 771 号 2023 年 11 月 13 日

「お年寄りを大事にしましょう」と言うのはよく聞かれる話です。「儒教の教え」と言われていますが、どうして大事にする必要があるのでしょうか？

自然界においては、老いた動物は大事にされません。１個体で生きている虫や魚に鳥などは動きが鈍くなったら食べられます。生き残っても老いていると餌が取れずに死んでしまいます。群れを作る動物でも、老いた動物は群れの足手まといとなるので、群れから追い出されたり、群れの移動などについていけなかったりして死んでしまいます。

しかし、人間だけは違います。歳を取って働けなくなった人でも他の人に支えてもらい、社会からの福祉によって生きていけます。また、歳をとっても働いている（社会の役にたっている）人も多いです。「それは動物と違って、肉体労働だけじゃなくて頭脳労働できるんだから当たり前だ」と思うかもしれません。でもこの頭脳労働こそがお年寄りを大事にする大きな理由です。

昔の時代のお話をしましょう。都市どころか町なんかも無くて、村があるような時代です。ある時、海が干上がるという不思議なことが起こりました。魚も貝もタコなども取り放題の食べ放題です！でも村の長老（お年寄り）は言うのです。「死にたくなかったらみんなで山の上に逃げるぞ」と。海が干上がるのは大津波の前兆なのです。お年寄りが危険を知らせてくれたからみんなが生き残ることが出来ました。他にも、「ケガした時にはヨモギを傷口に貼るといい」「風邪をひいたときには菖蒲の煮汁を飲ませるといい」など色んなことを教えてくれるのです。こういった知識や経験は情報が発達してない頃、とても重要で価値があるものでした。何か大変なことがあった時に、昔に体験したこと、あるいは聞いたことから解決できる人が居ないと村全体が生き残ることが出来なかったのです。（逆を言えばお年寄りを大事にしなかった村は潰れていきました。）

人間自体は動物としてほとんど進化していません。でも世の中はこれだけ発展して便利になりました。それはお年寄りたちの知識・経験がみんなに広がり共有されたからです。その方法はお勉強です。子どもはよく「どうして勉強しないといけないの？」と言いますが、「世の中を発展させるため」に必要なのです。「じゃあお勉強して、お年寄りの知識や経験もいらなければお年寄りは大事にしなくても良いのでは？」と思うかもしれません。でもそれは違います。

祖父母参観（2018 年９月）

まず「経験が要らない」と言う事はほぼありません。技能などは経験によって身につくものなので特に経験が重要です。歌・音楽に芸能・演技、各スポーツ(特に複数人で競技するもの)や絵などの芸術だけでなく生産現場などの仕事でも技能が物を言う世界では、習熟や技能の発展のために先達の経験がすごく重要です。

そして次に「お年寄りを大事にしないと、自分がお年寄りになった時に不安になるから」というのもあります。自分がお年寄りを大事にしたことが無ければ、自分がお年寄りになった時に大事にされないと思うのは当然です。「情けは人の為ならず、自分の為なり」とは良く言ったものです。

今回お話したお年寄りを大事にすることの大切さを振り返る日が、敬老の日です（敬老の日に書く予定でしたが遅くなってしまいました）。ここまで「お年寄りを大事にする必要がある」と述べてきましたが、経験も知識も不十分なお年寄りが「私を大事にしろ！」と言うのは筋違いです。私も大事にされるお年寄りに成るために、これからも知識と経験を積み重ねていきたいものです。　（文責　西尾舜）